



TEAM NEXT YONEZAWA

情報処理業務を支え より良い米沢へ

自治体業務や企業経営の効率改善のための受託計算センターとして、昭和 41 年に設立した(株)データシステム米沢。現在では、主に業務システムの導入作業や運用代行などを行っているほか、本市でも活用している情報発信アプリ「モバ支所!」を開発するなど、IT 分野での強みを発揮しています。

モバ支所のプログラム改修などを担当している鬼満典弥さんにお話を伺いました。「生活に密着した情報をタイムリーにお知らせできるのがモバ支所のメリットだと思います」。AI などの新しい技術も現在勉強中だという鬼満さんは、「市民の皆さんの期待に応えられるものを作っていきたい」と意欲を燃やします。

IT 分野をはじめ、様々な技術が目まぐるしく革新を続ける現代。システム統括部の原田真也さんは、「現代では、技術そのものよりも『その技術を使って何を作りたいか』という考え方が大事です。TNY で異業種と積極的に関わり、自分たちとは違った目線のアイデアに触れながら、新しい可能性を模索していきたい」と語りました。

「税システムの保守・運用などを長く手掛けているので、自治体の業務に関する知識や経験が豊富なのが私たちの強みだと思います」と語るのは、常務取締役を務める小田信光さん。これからの目標について、小田さんにお聞きしました。「米沢市でもスマートシティに向けた動きが広がっていくと思うので、より便利で住みやすい環境を整備する役割を果たしていきたいです」。変化し続ける社会に対応し、米沢の未来をより良いものにするため、データシステム米沢の挑戦は続きます。

IT 分野の業務で地域企業・自治体を支える (株)データシステム米沢 (中田町)

システムの受託運用・管理などを手掛けている。写真は常務取締役の小田信光さん(写真左)、システム統括部課長代理の原田真也さん(写真中央)、システム統括部の鬼満典弥さん(写真右)。



「米沢品質向上運動」とは

本市では、挑戦と創造のあかし「米沢品質」をスローガンに掲げ、産品だけではなくサービス・観光・文化・行政など、様々な領域の「挑戦と創造」を喚起し、付加価値を高めていくことを目的に「米沢品質向上運動」を展開しています。本市のブランディングに賛同し、この運動に参加するプレイヤーが「TEAM NEXT YONEZAWA (TNY)」です。(3月14日現在、175の企業・団体・個人が登録)



TEAM NEXT
YONEZAWA